

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月18日			記入者	
内線	3458				
部 名	建築部	課 名	営繕課	課長名	田所 忍
事務事業名	魅力ある公共建築づくり推進事業				
予算上の事務事業名	魅力ある公共建築づくり推進事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	24120	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します				
基本施策名	第1節 魅力ある都市景観の形成				事業開始年度
施策名	第2施策 魅力ある都市空間の創造				平成6年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
魅力ある公共建築物検討会設置要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	魅力ある公共建築物整備指針		都市景観に配慮したうまいのある都市空間の創造や多様な市民ニーズに対応した魅力ある公共建築物の整備を目指す。		
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 計画の策定・推進 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
魅力ある都市空間の創造に寄与するため、「魅力ある公共建築物整備指針」に基づき、建築設計競技(設計コンペ)の推進、施設の検討、課題の調査研究等を行い、魅力ある公共建築物整備の推進を図るもの。			公共建築物		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
(仮称)新磯分署基本設計の検討 魅力ある公共建築物検討会作業部会 平成16年7月22日 魅力ある公共建築物検討会開催 平成16年7月29日					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	120	0	60	180	180
一般財源	120	0	60	180	180
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,048	0	336	1,008	1,008
事業コスト合計(a)	1,168	0	396	1,188	1,188
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	魅力ある公共建築づくり推進事業			対象名称(単位)	1検討会回数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,168	0	396	1,188	1,188
対象数	3	0	1	3	3
単位あたり経費(円)	389,333		396,000	396,000	396,000
前年度比				1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	検討建築物件数（施設）	指標式と指標の説明		検討建物件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	2.0	0.0	1.0		
目標	2.0	0.0	1.0	2.0	2.0
目標達成度	1.00		1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	検討会のアドバイスの反映割合（％）	指標式と指標の説明		検討会アドバイスの実現数 / 検討会のアドバイス数 *100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	86.0	0.0	75.0		
目標	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	86.0		75.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		景観や環境に対しての市民意識が高まるなか、公共建築物が景観や環境に配慮した計画をすることの重要性が増してきている。今後も、設計の基本的な機能・効率性を踏まえた上で、この事業の活性化を図り景観等に配慮した魅力ある施設作りを推進する必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
成果の向上を図るには、作業部会や検討会の議論をより活発に行い、検討結果をさらに事業実施につなげる必要がある。			公共建築の魅力をさらにアップさせるために、検討会をより活性化させる必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		事業実施方法において、デザインに限らず、維持管理面にも配慮した検討を実施する。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			